



ワークショップ

広島湾の魅力と課題を探る

平清盛ゆかりの広島湾の保全・再生に向けて

宮島・廿日市会場 第2回実施報告（速報版）



広島湾の魅力や広島湾を保全・再生していくための課題と解決策について考える「**広島湾の魅力と課題を探るワークショップ 宮島・廿日市会場 第2回**」を1月22日（日）、宮島コーラルホテルにおいて開催しました。

廿日市市内を中心に近隣市町より31名が集まり、第1回ワークショップで抽出した、広島湾の魅力資源を活かした地域の課題に対する解決策と役割分担について、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。

ご参加頂いた皆様、ワークショップ開催にあたりご協力・ご支援を頂いた皆様には、あつく御礼申し上げます。

※ワークショップの様子は、12月26日の読売新聞の朝刊でも取り上げられました。

《実施日時》 平成24年 1月22日（日）13:00～16:00

《実施会場》 宮島コーラルホテル 1F「宮島」

《参加者》 31名（男性18名、女性13名）

※ワークショップ第1回に参加頂いた方に、引き続き参加して頂きました。

プログラム1 講演「厳島の歴史について」

講演「厳島の歴史」では、**厳島神社 禰宜 福田道憲氏**より、厳島神社の年中行事にまつわる逸話や背景となった歴史などについて、昔の写真も交えながらご講演を頂きました。

厳島神社は推古元年（593年）に創建され、平清盛によって1168年頃に今日のような廻廊で結ばれた海上社殿が造営されたこと。厳島神社の祭式には「大祭式」「中祭式」「小祭式」があり、それぞれ身に付ける装束が異なること。また「御島巡式（おしまめぐりしき）」の重要な儀式である「御鳥喰式（おとぐいしき）」は、海上に幣串（へいぐし）と粢（しとぎ）団子を備えて雅楽を奏すると、神様を案内したといわれるカラスが現れ、団子をくわえて養父崎（やぶさき）神社に持ち帰るといふ神事であり、「御鳥喰式」に参加した人には幸運が授かると言われているが、年によってはなかなかカラスが現れないことがあり苦労していることなど、普段は聞くことができないお話もご紹介頂きました。

[祭式における神職装束]



厳島神社禰宜 福田道憲氏
によるご講演



「大祭式」



「中祭式」



「小祭式」



御島巡式（御鳥喰式）

プログラム2 ワークショップ

ワークショップでは、第1回ワークショップで抽出した「広島湾の魅力資源」の「よいところ」、「足りないところ」を踏まえ、広島湾再生行動計画の3つの目標に関係するテーマを各班ごとに決めて、解決策と役割分担について話し合いました。参加者からは色々な解決策のアイデアが出されましたが、行政だけが行うのではなく、地域（自分たち）ができることは何か、といった視点も含めた役割分担についても議論を深めていきました。



意見交換の様子



発表の様子



とりまとめ資料

とりまとめの一例

広島湾再生行動計画の目標	どうすればよいか？何がよいか？（解決策）	課題解決に向けた役割分担（案）
森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。 （水環境や自然環境の保全・再生）	（広島湾の自然のおもしろさを伝えるには？） ○海岸清掃などの体験ツアーを企画し、ツアーの参加者は参加する回数に応じポイントや地域通貨がもらえるようにする。	（行政） ○清掃活動の支援、ポイントや地域通貨の発行 （事業者） ○体験ツアーの企画、実施 （市民・NPO） ○自然ガイドの育成、イベントの支援
人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。 （親水空間の創出や利用の活性化）	（宮島などで、もっとイベントやボランティア活動を活発にするには？） ○いつ、どのようなイベントやボランティア活動をしているのかわかるように情報の窓口を設置する。 ○ボランティア活動の年間カレンダーをつくる。	（行政） ○情報の窓口の設置 ○ボランティア活動の年間カレンダーの製作 （市民・NPO） ○市民やNPOがイベントやボランティア活動の情報を、行政の情報窓口に伝える。
宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。 （自然・歴史・文化的資源の保全と活用、ゴミなどの削減）	（宮島の滞在型観光コースの提案について） ○宮島で滞在してもらうに、夜に楽しむ企画や宿泊した翌朝の魅力づくりを行う。 朝：宍道湖のシジミの味噌汁のように、宮島の朝ご飯をブランド化したり、島の古い慣習を体験する。 昼：歩く距離が長いので100円で乗降が自由なバスを運行する。 夜：宮島から近い大竹市の工場夜景を船から観る産業観光や、夜の灯籠を活かした観光を実施する。	（行政） ○100円バスの運行 ○ブランドのPR （事業者） ○夜の産業観光の企画、実施 ○朝ご飯のレシピの開発 （市民・NPO） ○宮島の夜の楽しみ方（灯籠を活かした散歩コース）の提案

【その他の主な意見】

（水環境や自然環境の保全・再生）

- 宮島で立ち入りできない場所の自然については、博物館で展示する。
- 小学校から、カキを育ててみる（自然のものを育てる）などの体験学習をさせる。

（親水空間の創出や利用の活性化）

- 島内で、カキ筏などを活用して釣りができる場所を整備する。
- 島内の基点からの距離がわかる標識を立てる。

（自然・歴史・文化的資源の保全と活用、ゴミなどの削減）

- 宮島七浦巡りを観光コース化して、「カラスが見られると幸せになれる」などのジンクスをつくる。
- 宮島棧橋から包ヶ浦に行く途中のルートにも色々な魅力資源があるので、それらの資源をもっとアピールする。

ワークショップの結果については、今後「広島湾再生行動計画」の取り組みの参考にさせて頂くとともに、「広島湾再生ホームページ」でも公開する予定です。（<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/>）